

ものしりモコじい⑤ “ちきゅうとあたまのほし”



ちきゅうとあたまのほし
ってどのくらいはなれて
いるの？

ひゃくまんこうねん
100万光年はなれていて、きよりが
けい ちょう おく まん
946京0730兆4725億8080万kmじゃ

え！？むずかしい！！
わからないよ

あたまのほしまでかかるじかんと わかりやすくすると

あるきで約269億9980万1577年
(時速約4km)

しんかんせんで約3億3749万7519年
E5系はやぶさ、E5系E6系連結こまち
(時速約320km)

スペースシャトルで約387万4410年
(時速約27,875km)

ものすごいとおいて
ことがわかるね

＊光が1年間にすすむきよりを“^{こうねん}光年”という。^{しんくうちゆう}(真空中)
＊1光年で9兆4607億3047万2580.8kmすすむ。

1秒で30万kmもすすむ“光”だと
地球1周のきより約4万75km (赤道)



約0.13358333秒

地球から月のきより約38万4400km

約1.255秒

ひかりのはやさでも
100万年かかるの!?

地球から太陽のきより約1億4960km

約8分19秒

地球からあたまの星のきより約946京0730兆4725億8080万km

約100万年

なんであんなにはやく
あたまのほしにつけたの?



*えほん “あたまのくに”



モコーティーな
しつもんじゃ!!

2つのアイテムをつかえば3分でとうちゃくじゃ

- ① “グラビトンバブル” でくわんのゆがみをつくる。
- ② “アワモコタキオン” というあわでぜんしんをつつみからだバラバラにならないようにする。
- ③ そしてつくった空間のゆがみの中を光のはやさでいどうする。

つぎに、このしくみをかんたんにせつめいするぞ!!

グラビトン粒子 (重力子) をあつめてりようするのじゃが、重力はものすごい力をもっているので使い方を間違えると大変なことになる。例えるならわれわれが制御できる小さいブラックホールをつくるようなものなのじゃ。その中を安全に通るためにアワモコタキオンで全身をつつみ体を守りながら光の速さで出口にむかうのじゃ。このりろんは、アワートンハカセがみつめてベヌシュタインハカセがそのりろんをしんかさせた。ちなみにMPEを活用している私たちの国では空間にある粒子を当たり前に撞くことをしてきている。じゃが、そうなるまでの歴史は長かった……

目で見ることができなく、本当にあるのかもわからないまのをつかうことのむずかしさ。

わしが小さかった頃には夢話だと思っていたようなことが形に したの

感動すると同時に「進化」を心から感じたものじゃ。おっと、はなしがそれて

しまったな。わしのわるいくせじゃ。つまり、空間には何かの粒子が常にある

と思えばわかりやすいかもしれんな。ただ、真空の中であるとうどうなのかとい

う話しもある。ヒックス粒子という質量をあたえる粒子があると考えられているのじゃが、

◇○▼○※△☆▲#◎▲★

